



議会HPへアクセスします

かがみの木

第25号

みんなの笑顔



ヘッドライン・ニュース

- ◆ 議長・副議長あいさつ ②
- ◆ 各委員長あいさつ ③
- ◆ 4・5・6月議会 ④～⑦
- ◆ 委員会報告 ⑧～⑨
- ◆ 町政を問う 一般質問 ⑩～⑮
- ◆ 鏡野町民と鏡野町議会との意見交換会・かがみ君の日記 ⑯



おゆりん



みずりん



議長就任あいさつ

鏡野町議会議長 原 章倫

この度、議会の改選におきまして、前期に引き続き、議長の要職を務めさせていただくこととなりました。今期から議員13名による議会の運営となりますが、与えられた課題や果たさなければならぬ責任の重さをひしひしと感じ、身の引き締まる思いでいっぱいでもあります。

コロナ禍を経て、日本経済も緩やかに持ち直していくことが期待される一方で、物価高騰、人手不足などが生活や経営を圧迫しており、景気回復の鈍化が懸念されます。

さらに第2次トランプ政権による政策の変更の影響に大きく左右される可能性があり、予断を許さない状況が続くことが予想されます。また、中東のイラン、イスラエル紛争も世界経済に大きな影響をあたえかねないと、大変危惧するところです。

また近年、異常気象による豪雨災害も多発傾向にあり、自然災害の発生に強靱な町づくりを進めるためにも、防災、減災対策の充実強化を図って行くことが必要です。

またご承知のように、現在、少子高齢化の進展に伴う人口減少や町政を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

一方、持続可能な社会の実現に向け、行政課題や町民の皆様のニーズも多様化、高度化しており、地域の生活、経済を守るために行政と議会が総力を挙げて取り組むことが必要で、議会機能の向上も求められています。

町民の皆様と意見交換会等、将来の在り方を共に考えていく議会であるよう、努めて行きたいと思っております。

今期から審査機能の充実を図るため、予算決算常任委員会を中心に、総合的、一体的に審議を行い、様々な課題に取り組んでまいりたいと考えています。

13名の議員で時代に対応した活性化に向け邁進していく所存ですので、引き続き議会に對しまして、ご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



副議長就任あいさつ

鏡野町議会副議長 牧田 俊一

日頃より、町民の皆様には町政への深い関心と、議会運営にご理解ご協力を賜り感謝いたします。

この度、歴史と伝統ある鏡野町議会副議長を拝命しました牧田俊一です。自然豊かなまち、こころ温かい人々が暮らす鏡野町で、副議長という重責を担わせていただくことに心より感謝を申し上げます。皆様からの期待に応えることができるよう、強い責任感を持って職務に臨むことをお誓いいたします。

これまで、私は一議員として、また、子育て世代・現役世代・責任世代として、鏡野町が直面する様々な課題や問題点、皆様からの声や意見に真摯に向き合っていました。

少子高齢化の進行、地域経済の活性、未来のまちづくりを担う子どもたちの環境整備、頻発する自然災害への備え等、山積みとなっている課題に取り組む、将来にわたり、だれもが住みよいまち「かがみの」を築いていくことが、私たち議員に課せられた責務と思っています。

副議長としての役割は、議長を補佐し、議会が公正・円滑かつ効率的議事運営が遂行できるように努める重要な役割を担っています。また、議会としては、まちの将来を築く重要な政策の決定の場でもあります。この度の議員定数改正により議員構成は13名となりましたが、町民の代表として皆様の声や意見が施策実行に反映できるよう、活発かつ建設的な議論を重ねていくことが不可欠です。そのために、議員間の意思疎通、議員の知見と経験を集結して、町民第一の議論の場となるような環境づくりに努めてまいります。

鏡野町は豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統と文化、そして、温かい人情が息づく素晴らしいまちです。この魅力をより一層高め、誰もが大きな夢を描き、目標に向かって成長し、輝けるまちを築き上げるために、今後とも指導ご鞭撻をお願いいたします。

甚だ未熟ではございますが、この度の重責を担うにあたり、全身全霊を傾けて職務に邁進することをお誓い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

委員 会 委員 長 就 任 あ い さ つ

総務産業常任委員会

難波 達男

町民の皆様におかれましては、平素より議会活動にご理解ご協力をいただき誠に厚く御礼申し上げます。

令和7年4月より鏡野町議会において委員会構成を刷新することになり、総務と産業の常任委員会が一つの委員会となり、この度委員各位の推挙により委員長を拝命することになりました。大変な重責の役職に就くことになり、責任の重さを痛感しております。今後においてはいろいろな課題も出てくると思いますが、他の委員とも協力し、新町長及び新執行部とも協議をし、町民の為に良い鏡野町を作っていくために頑張って努めてまいりたいと思っております。皆様には何かお気づきの点がございましたら遠慮なくお知らせいただけたらと思います。皆様のご期待に沿えるよう、今後より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、就任の挨拶とさせていただきます。

議会運営委員会

鈴木 大介

町民の皆様には、平素より鏡野町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、鏡野町議会運営委員会の委員長を拝命いたしました。町民の皆さまに支えられ、こうして議会運営に関わる重要な役割を担わせていただくことに、責任の重さと同時に大きなやりがいを感じております。

議会運営委員会は、議会が円滑に進行するように議事日程などを調整し、議員の皆さまの意見を反映するための大切な役割を担っています。町政に関するさまざまな議論がしっかり行われ、町民の皆さまの声が町づくりに生かされるよう、誠心誠意取り組んでまいります。

今後とも、議会改革を行っていくとともに、より開かれた議会を目指して努力を重ねてまいりますので、町民の皆さまには引き続きご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

予算決算常任委員会

光吉 準

議会改革の一環で「予算決算常任委員会」が新しく設けられました。

これまで予算・決算は各常任委員会で、それぞれ分割して審査されてきました。それを一つにまとめ、通年の会期制をとっているメリットを活かし、予算・決算審査のPDCAサイクルの流れを充実させる目的で、この委員会は設置されました。

3月会議で予算議案が可決され、執行部が予算執行を行い、その執行に対して9月会議で（前年度の）決算審査が行なわれます。その決算審査によって明らかになった政策課題を基に、次年度の当初予算を編成していくPDCAサイクルです。さらに町民の皆さんとの意見交換を行い、皆さんからの意見も町の予算に反映させていきたいと考えています。

町財政の厳しさが言われる今日、予算・決算審査は今まで以上に重要になっています。皆さんからご意見をいただき、より充実した審査ができるようにと考えています。初めてのことで慣れぬことも多く、行き届かぬことが多々あると思いますが、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

文教厚生常任委員会

藤田 照子

この度、委員長という責任ある立場を拝命いたしました、藤田照子です。

国においては、軍事予算が教育予算の2倍に急増し、物価高騰も続く中、国民健康保険や介護保険の負担増が懸念されています。少子高齢化や財政難といった厳しい状況の中、町民の皆さま一人ひとりが安心して幸せに暮らし続けられるまちづくりが求められており、身の引き締まる思いです。

待機児童の解消や教育環境の整備、鏡野病院の建設、訪問介護の課題などがあり、面積の広い鏡野町ならではの課題も大きくなっています。現場の皆さまや専門家と力を合わせながら、町が責任をもって対応できるよう取り組んでまいります。

いただくお声を大切に、「心豊かなつながり」の輪が広がるよう尽力してまいります。皆さまとともに進んでまいりましょう。

6月会議で決まりました

令和7年6月3日～6月24日まで6月会議が開催され、令和7年度一般会計補正予算(第2号)1億650万円増額、報告2件、請願1件、議案7件が上程され審査の結果、全会一致で可決されました。

苫田ダム周辺管理事業費

事業費 **59万円**

箱地区の公衆トイレが、給排水施設の老朽化により利用できなくなっているため、修繕工事を行う

非常備消防経常管理事業費

事業費 **21万円**

鏡野町消防団あげは隊が、全国女性消防団員活性化大会へ参加する費用として

重層的支援体制整備事業

事業費 **166万円**

複雑化・複合化する相談内容に対して重層的な支援体制を強化するため、アドバイザーに委託し支援体制の整備を図る

かがみのマラソン大会事業費

事業費 **991万円**

奥津湖畔で開催する大会の準備、運営に要する経費

条例の制定・一部改正

- 子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 鏡野町行財政改革審議会設置条例の一部改正について

財産の取得

★除雪機械整備事業 凍結防止剤散布車4t級 1台 … **2585万円**

契約の相手方：株式会社 バンバラ自工

★学校給食共同調理場備品整備事業 厨房機器 …… **1023万円**

契約の相手方：有限会社 オリエンタル物産

請 願

★教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について

議員所属表

	氏 名	所属政党	所属委員会等	一部事務組合・その他委員・理事
	原 章倫 はら あきのり	無所属	議 長	津山広域事務組合 岡山県広域水道企業団運営協議会
	牧田 俊一 まきた としかず	無所属	副 議 長 文教厚生 予算決算 広 報	津山圏域衛生処理組合
	植木 卓 うえき たく	無所属	文教厚生 (副) 予算決算 議会運営 広 報	津山圏域衛生処理組合
	竹下 桂輔 たけした けいすけ	無所属	総務産業 予算決算 (副) 議会運営 (副) 広 報	岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟理事 株式会社 夢アグリ鏡野取締役
	小椋 明美 おぐら あけみ	無所属	総務産業 予算決算 広 報	津山圏域資源循環施設組合
	鈴木 大介 すずき だいすけ	無所属	総務産業 (副) 予算決算 (正) 議会運営 (正) 広 報 (正)	津山圏域消防組合 一般財団法人 鏡野町振興公社理事
	花房 尚 はなふさ ひさし	無所属	文教厚生 予算決算	
	難波 達男 なんば たつお	無所属	総務産業 (正) 予算決算 議会運営 広 報 (副)	
	藤田 照子 ふじた てるこ	日本共産党	文教厚生 (正) 予算決算 議会運営	岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟理事
	光吉 準 みつよし ひとし	無所属	文教厚生 予算決算 (正) 議会運営	
	片田 八重美 かたた やえみ	無所属	総務産業 予算決算 広 報	津山圏域消防組合 津山広域事務組合
	仲西 祐一 なかにし ゆういち	無所属	総務産業 予算決算	株式会社 夢アグリ鏡野取締役
	長石 幸男 ながいし ゆきお	無所属	文教厚生 予算決算	議会選出監査委員 一般財団法人 鏡野町振興公社理事

※(正)委員長 (副)副委員長

5月会議で決まりました

5月議会は5月9日に臨時会議が招集され、補正予算3件が審議され、全会一致で可決されました。

補正予算 1億7850万円

鏡野町有線テレビ施設臨時管理費

1200万円

令和6年度に実施した奥津地域幹線の調査に基づく修繕費用
(鏡野町は平成24年にケーブルテレビを整備。令和8年度は上齋原地域を修繕計画)

町アプリ導入事業費

新規事業

1482万円

町ポータルアプリの導入経費
(告知放送内の内容もアプリで確認することもできる)



死亡後の手続きのDX化推進事業

新規事業

1372万円

死亡後の手続きDX化推進事業費
(書かない窓口、事務処理の簡素化にむけての取り組み)

社会福祉総務臨時管理費

新規事業

77万円

町内3箇所の児童公園内の遊具撤去・修繕に係る経費
(遊具設置後約30年経過。安全確保のための撤去・修繕費)



デマンド公共交通共創事業

895万円

デマンド実証運行計画で使用する10人乗り2台の購入経費
(補助ステップ付き、クレジット決済対応車両)



子ども第三の居場所事業

285万円

送迎車両購入費助成がB&G財団に採用され、子ども第三の居場所に対し車両の補助を行う経費

奥津紅葉祭開催事業費

576万円

紅葉シーズンにおける奥津溪一帯の交通警備などに要する経費



産業まつり開催事業費

526万円

9月7日開催予定の費用計上
(令和6年度は9,000人来場。令和7年度は15,000人来場目標)

意思疎通支援事業費

30万円

手話言語普及のため、有線放送を活用した
広報活動をおこなう

非常備消防経常管理費

719万円

消防活動に従事する際、消防団員の身体を
守るために必要な防火衣（上衣、下衣）を
整備するもの

鏡野町国民健康保険病院事業会計補正予算

352万円

スマートフォン等からの診療予約システムの
導入及びそのシステムに対応する自動精
算機の購入費用

鏡野町水道事業会計補正予算

2023万円

真経地内での水道管漏水修繕費600万円、
町道橋梁改修に伴う水道管移設工事費950万、
県等と共同で行う人工衛星を活用とした水道
管路の漏水調査への負担金473万

4月会議で決まりました

4月10日に議員選挙後の初議会が招集され、議長、副議長、一部事務組合議会議員等を
選挙により決定しました。また、監査委員と副町長の選任同意2件、専決処分の承認1件が
審議され、全会一致で可決されました。

専決処分の報告について

報告第1号

（鏡野町税条例の一部改正）

令和7年度税制改正における地方税法の
改正に伴う軽自動車税種別割の税率の区
分の改正、道路交通法の改正に伴うマイ
ナ免許証の運用開始に係る規定等の整備

報告第2号

（鏡野町国民健康保険税条例の一部改正）

国民健康保険税の課税額に関する基準に
ついて、課税限度額が一部見直しされた
こと及び減額措置に係る軽減判定所得の
基準額が見直しされたことによる改正

専決処分の承認を求めることについて

令和6年度鏡野町一般会計補正予算（第9号）

提案理由

令和6年度内に事業が完了しない見込みとなり急を要したため、翌年度に繰り越すこと
を専決処分したので議会の承認を求める。

繰越明許費補正

- ☐追加予算 5305万円（介護施設開設準備経費等支援事業費）
☐変更予算 補正前 181万円 → 変更後 2087万円（選挙管理費）

6月会議 委員長報告

総務産業常任委員会

◆鏡野町行財政改革審議会設置条例の一部改正

総務産業常任委員会では令和7年度6月会議2日目に委員会に付託されました条例改正について6日に審査を行い、執行部への質疑をし、新しい町づくりを推進するための文言をなぜ削除するのか、合併から20年経過し、新しい町づくりに限定せず、持続可能な行政全体の改革に広げる意図から削除したとの答弁があり、新体制のもとで今後の鏡野町行財政改革をするために審議会を立ち上げるために条例改正をするものである。討論もなく全会一致で可決すべきものと決しました。

(鏡野町行財政改革審議会とは鏡野町において、新しい町づくりを推進するため、行財政運営全般の改善に関する方策を求めるため、町長の諮問機関として設置する。)

※委員長所感

今後、新町長のもと、鏡野町の方針に変更があると思われる。新たに、条例についても改正等の上程があると思うが、委員会としてしっかり審査していきたい。

文教厚生常任委員会

◆「子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令」の施行に伴い、町の関係条例の一部改正

- ①「鏡野町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例」
- ②「鏡野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」

乳幼児の保育施設を求める声は大きく、待機児童の問題は全国的な課題。本町には現在あてはまる保育施設はない。今後、家庭的保育事業を開始しようとする場合、参考にすべき条例である。

【主な改正内容】

○家庭的保育事業者及び特定地域型保育事業者等が確保しなければならないこととされている、保育内容支援、代替保育、卒園後の受皿に係る連携施設を確保することが著しく困難な場合において、一定の条件を満たすと認められる場合は、連携施設の確保をしないことができる規定を加える。

○附則に規定する経過措置の期限を「施行日から15年を経過する日まで」に延長する。

待機児童0の目標に対し、今回の条例改正は対策に活用できるかという質疑に小規模保育事業は0歳から2歳が対象、定員6から19人の少人数保育で鏡野町の待機児童の対象年齢と合致する。この事業ができれば待機児童解消に役立つと期待している、との答弁があった。

※委員長所感

乳幼児の保育施設を求める声は大きく、基準は緩められても乳幼児保育が安心安全に実施できるように期待したい。



予算決算常任委員会

●議第38号

令和7年度鏡野町一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ1億650万円を追加し、総額118億200万円とする

●議第39号

令和7年度鏡野町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ369万5千円を追加し、総額を14億6584万7千円とする

●議第40号

令和7年度鏡野町介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ1217万円を追加し、総額を18億184万6千円とする

◆林業機械臨時管理費

521万円の増額

原木なめこの生産の見通し、方針について問う質疑が行われた。

費用対効果を考慮し、新規での原木なめこの生産は考えていないが、令和7年度、伏せこむ2,400本のほだ木があり、今後5年程度は収穫が可能であり、収穫及び販売は「作州かがみの森林組合」に委託を継続したいとの答弁があった。



◆かがみのマラソン大会事業費

991万円の増額

令和7年度で最後になると言われているかがみのマラソン大会事業について、大会の意義・目的などの質疑が行われた。執行部からは合併前に健康マラソンということで手作りの感じでやってきたが、町外からも参加者を受け入れ、競技としてタイムを競う方が増えた。長く続いてきたものをやめる勇気も必要で、新町長になり、マラソンだけではなく色々な事業を見直し、新しいものに変えていこうということの一つの現れだ、との答弁が行われた。重ねて健康作り、県外から来られる方との交流の場にもしたいという変わらぬ想いで、最後の大会としてふさわしいものにしたい、との答弁があった。



◆中学校支援教員配置事業

628万円の減額

学校部活動の地域連携に係る部活動指導員人件費はなぜ減額されるのかの問いに、当初予算では町費で算定していたものが、県費の対象になったためとの回答があった。

*委員長所感

新しく設置された予算決算常任委員会では、3つの補正予算の審査が行われた。

会議2日目に予算案が委員会に付託され、予算決算審査準備会が開かれた。各委員から出された「論点整理記入シート」をもとに審査の論点を整理し、質疑の順番や担当を決め、それを基に執行部に対して質疑の項目を提供し、また審査に必要な資料の提出を求めた。

そして11日、12日の2日間、審査を行い、審査は執行部への質疑、委員間討議、自由討議、議案に対する討論・採決と続き、3つの補正予算は原案どおり可決された。主に議論になった点について報告する。

この委員会は始まったばかりで、議会、執行部、さらに町民の皆さまから審査の改善点などを出していただき、より充実した予算決算審査を目指していきたい。

町政を問う

一般質問

一般質問とは、議員が
町の行政全般にわたつ
て執行機関に対し疑問
点を質し、所信の表明
を求めるものである。

質問 今後の有害鳥獣の対策は



国の補助や町単独の補助を
行っていく

答弁

一括方式



植木 卓 [うえき たく] 議員

問 近年の鳥獣被害
件数・被害金額・
駆除件数の推移はどの
ようになっているのか。

答 町長

鳥獣被害件数は
令和6年度149件、
被害金額1602万円、
駆除件数は、イノシシ
530頭、鹿1972
頭。その他121頭で
合計2623頭である。
2年前とくらべて、イ
ノシシの駆除件数は減
少しているが、鹿の駆
除件数は897頭増加
している。

問 鏡野町有害鳥獣
被害防止計画につ
いての振り返りと今後
のポイント。

答 町長

捕獲対策と防除
対策の支援を行って
いる。捕獲対策は、町
友会の鳥獣被害対策実
施隊に、くくりわなの
配布、ドローンの活用
等の支援。また、捕獲
従事者に対し、猟銃免
許の取得経費の一部助
成、捕獲活動に対する
補助金の交付を行って
いる。防除対策として
は、国の補助を活用し

た地域柵の設置や、町
単独の有害鳥獣防護柵
設置補助金の交付を行
っている。

問 農業者が継続し
て耕作ができる支
援や助成措置はどのよ
うになっているのか。

答 町長

中山間地域等直
接支払交付金や多面的
機能支払交付金など国
の制度を活用し、農業
生産者を支援していく。
また、労力やコストを
かけずに農地を管理す
る粗放的利用として、
最適化土地利用総合対
策にも取り組んでいく。
今後については、夢ア
グリ鏡野を主体とした
農地の集約や新規就農
者の支援、スマート農
業の導入、国・県の事
業を活用した施策を行
う。



質問

米価高を、生産者に
還元できないか



施策は無いが、体制整備について、
国、県に要望する

答弁

一括方式



竹下 桂輔[たけした けいすけ] 議員

問

第三セクターを
通じ米を高く買い
販路を開拓し「鏡野
米」をPR、ブランド
イメージを確立でき
ないか。

答

町長
価格や保管場所
の問題など課題は多く
あり、販路の拡大は既
存の道の駅や県南部の
物産館などの連携を
検討していきたい。

問

買取価格は1俵
3万円、売値4万
円を目標にネット販売
も視野に入れる。保管
場所については4千俵
の米を保管できる状態
でありながら遊休状態
にある、富のJA所有
の低温倉庫を買取るか
借り上げ運用し、夢ア
グリ鏡野、夢広場、振
興公社と協議しつつ、
少量の良質な米から実



香北の棚田

答

町長
「地域活性化企
業人制度」は、今後の
検討課題にしたい。

答

産業観光課特命参事
提案は、夢アグ
リ鏡野、道の駅、夢広
場と検討する必要があ
る。

証実験を始め、さらに
総務省の「地域活性化
起業人制度」を活用し、
新たな人材と知見を確
保することで販売ノウ
ハウを蓄積し、将来的
に「鏡野米」のブラン
ド価値向上と、町の農
業全体の発展へとつな
げる。そのための検討
を進められないか。

質問

鏡野5大イベントの開催について
今年度の予定は



「産業まつり」のみ予算化し、
他は予算化しない

答弁

一問一答方式



小椋 明美[おぐら あけみ] 議員

問

産業まつりの開
催予定は。

答

町長

町制施行20周年
記念事業として産業振
興の観点から開催をす
る。

問

納涼祭の
開催は。

答

町長

これから新鏡野
病院の建設事業や光ケ
ーブルの更新事業等を
控えている中、将来の
財政状況を鑑み、イベ
ントはゼロベースでの
見直しの必要性を感じ
ている。町が主体とな
るイベントは予算計上
を行わない。

問

恩原高原氷紋ま
つりの開催は。

答

町長

納涼祭と同じく、
予算計上しない。



問

奥津もみじ祭り
の開催は。

答

町長

オープニングに
ついては予算化しない。
開催の可否は実行委員
会の自主的な運営へ委
ねる。

問

富ひらめ祭りの
開催は。

答

町長

予算化しない。
役員会、実行委員会を
へて開催することが決
定している。

問

鏡野観光局との
連携はどのように。

答

町長

令和7年7月に
はDMO登録法人の申
請を行う予定。鏡野町
の観光事業の舵取り役
と位置づけ、観光コン
テンツの開発、観光プ
ロモーション及び人材
育成を目的とした専門
人材の雇用に対する人
件費の負担、観光事業
への補助金の支出を行
っている。

質問

町の認知度向上及び情報発信の
新たな取り組みは地域活性化企業人制度の導入を検討し、
認知度向上を図っていく

答弁

一問一答方式



鈴木 大介〔すずき だいすけ〕 議員

問

岡山県の少子化
要因「見える化」

ツールによると、結婚時の県内移動状況は鏡野町から津山市、真庭市に多く移動している要因は何か。

答

まちづくり課長

県民意識調査の報告書で、結婚時の住居地選択では、通勤時間と賃貸住宅の選びやすさ、という結果が出ている。鏡野町においても、こういったことで、津山、真庭への転居が多いという認識。岡山県主体による当圏域内に新たな産業工業団地を設置していただくように、要望書を提出したそうだが、進捗は。

答

まちづくり課長

5月に、鏡野町に來られ、県内94か所ある公営の工業団地の近隣に農地等の拡大スペースがある場所を2、30か所ピックアップし、予定地を絞っていききたいと聞いた。町として

問

園の待機児童問題

も、津山流通センターを候補に入れて、調査を行っていただきたいという要望を伝えた。ここ数年、保育園の待機児童問題が発生している。待機児童解消に向けての取り組みは。

答

町長

保育士が少ないというのが現状。特に、ゼロ歳児、1歳児、2歳児が待機児童となっている。保育士の確保に向けては、いろいろな方策を尽くしているが、結果が出ていない。今後もより一層保育士の確保に向けて頑張っていく。



質問

県の「断層型地震」の地域図に風力発電
建設予定地があるが、どう判断するか経済産業省の認可の結果を含め、
総合的に判断する

答弁

一問一答方式



花房 尚〔はなふさ ひさし〕 議員

問

岡山県が被害想定を抜本改定する「断層型地震」における震度6弱以上の地域図に建設予定地が含まれるが、町としては、風力発電所建設に対して、どう判断するか答える。

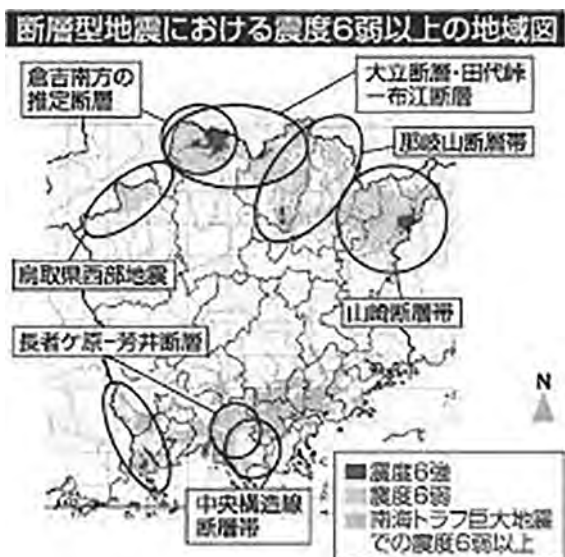
答

町長

風力発電施設の建設にあたっては、事業者は、発電用風力設備に関する技術基準に従って工事計画を立て登録適合性確認機関において技術基準への適合性が確認されること

その過程において、耐震性についても確認された後、経済産業省が、耐震性も踏まえ事業者の工事計画について認可を行う。その結果を含め総合的に判断を行いたい。

になる。



「岡山県地域防災計画」から引用

質問

地域活動の取組、イベント（ひらめ祭り）の行事について



今後地元に対して十分な説明をして理解をしていただく

答弁

一問一答方式



難波 達男 [なんば たつお] 議員

問 なぜ令和7年度になってから各地域のイベント行事を中止にしたのか。

答 町長

7年度から新たに第4期鏡野町未来・希望基金事業がスタートするので、地域で主体的に行う活動、イベント等は、未来・希望基金等を活用して実施してもらいたい。

問 未来・希望基金事業については、計画書をすでに提出しているが。

答 まちづくり課長

改めて優先順位を決めて、計画変更で連絡をいただきたい。

問 ひらめ祭りを含め5大イベントについて、鏡野町の観光イベントとして定着していると思うが開催しないのか。

答 町長

観光の一環だとは思いますが、人件費の高騰等で実施していくには財政的な余裕もなく

町としては難しくなってきた。一昨年に観光局ができ、町も補助事業を出して取り組んでいる。今後行財政改革の審議でイベントの在り方について考えていく。

問 事前に説明をすべきでは。

答 町長

今後財政面においても事前に説明をしていきたい。



質問

大野小学校と香々美小学校の統合の今後の進め方について



現在の大野小学校を一部改修、増築で新校舎の建設は行わない

答弁

一問一答方式



藤田 照子 [ふじた てるこ] 議員

問 統合予定で改修が遅れている。特に洋式トイレが男女とも各階に1か所しかなく、こどもたちの訴えが多い。改修予定は。



答 教育長

児童、職員用トイレ全てを洋式便器化し、床も乾式に改修する。バリアフリー対策として各階に多目的トイレを設置する。

問 教室や廊下の照明度が不足していないか。視力が全国平均より悪くなっている。照度環境の改善を。

答 教育長

照明器具は各教室で必要照度基準に適合するLED器具に全面改修したい。

問 人数が多い教室のロッカーの配置、クラスを分けるなど配慮ができるか。

答 教育長
ロッカーについては収納教材等、設置スペースも検討し改修していきたい。

なお、1学級の設置基準以下の人数のクラスを2つに分けるとなると教員の確保が必要。町費単独で教員を配置できる状況にはなく、現状ではクラスを分けることは困難。

問 保護者・教職員・町民・こどもの意見を聴く機会は予定されているか。

答 教育長

令和6年11月に香々美小学校保護者、香々美地区区長へ説明会、令和7年1月に大野小学校教職員から児童の意見等を踏まえて学校整備について要望を聞いている。今後の説明会で意見を聴きたいと考えている。



質問

気候危機対策を第3次総合計画に盛り込むべきでは



総合計画審議会からの答申を受け判断する

答弁

一括方式



光吉 準 [みつよし ひとし] 議員

問

環境基本条例をつくり、気候危機への取組を町民に積極的に呼びかけるべきでは。

答

町長

条例の制定は、町民や事業者に責務を負わせることにもなり、公平性、合理性などを踏まえ検討する。

問

温暖化防止などの基本的観点のあるSDGsの考え方を、第3次総合計画でも取り入れるか。

答

町長

SDGsは17の目標を全部対象にし、第3次計画にも組み込む。温暖化対策の一つとして、学校などの断熱化が必要だ。

問

避難所にもなる体育館の断熱化を計画的に進めてもらいたい。

答

教育長

町内の小中学校では平成28年までに全ての学校にエアコンの設置を完了、校舎並びに体育館の断熱化については今後の課題である。

問

倉敷市の断熱ワークショップで電気代が20%削減できており効果がある。一歩でも二歩でも断熱化を進めてもらいたい。

答

教育長

学校施設は公共施設整備の優先順位の最上位にし実現できるように対応したいが、



問

県は災害時の孤立集落発生の可能性調査を行い、鏡野町は13の集落が可能性がある」とされたがどこかその対策は。

答

町長

富地域では大楠兼秀、富仲間、奥津地域では養野、羽出上、羽出西谷上、三ツ子原、鏡野地域では寺和田、百谷、真経、大町、岩屋、越畑。今年度、自主防災組織や自治会を対象とした防災研修会を計画している。

質問

今後の「原木なめこ」事業の方向性を誰が判断し決めたのか



委託先の作州かがみの森林組合に運営状況を聴取し町が判断した

答弁

一問一答方式



片田 八重美 [かたた やえみ] 議員

問

原木なめこは特産品としての位置付けていないのか。

答

町長

町北部で生産する地域ならではの特産品として認識している。

問

産業観光課長

この先、どのような事業内容になるのか。

答

町長

昨年伏せた2400本のホダ木と、これまで伏せているホダ木で4～5年は、なめこの収穫はできるので、収穫及び販売についてのみ、委託し、販売収益は町へ。冬季に倒壊したパイプハウス修繕も保険対応で目処が立てば、地元と協議を重ね、生産率の向上、販売経路の促進、支援は役場が行い特産品として継続させたいと考えている。

問

シイタケ部会があるように、鏡野町全域で原木なめこに取り組み、部会を作ること提案する。収穫量が少いなりに、原木なめこの体験ツアーなどに取り組んではどうか。特産品による町の魅力と知名度アップが図れるのでは。

答

町長

原木なめこの裾野を広げるための部会の設置、また、体験型でのなめこ事業は、観光にもつながり鏡野町に注目してもらう上では面白い取組みだと思う。今後は、関係各所と調整し現実的なものかを検討したい。



質問



独身の方へ出会いや結婚を促す専門の
アドバイザーの設置が必要と考えるが取組は



現在、鏡野町は、津山市内の支援センターに
相談に行ってもらっている

答弁

一問一答方式



牧田 俊一〔まさた としかず〕 議員

問

二地域住居普
及〕や「関係人
口」等、鏡野町へ移住
を促す制度、人（ひ
と）を増やす施策と方
針はどのように取り組
むのか。

答

町長

専門知識を有し
た移住コンシェルジュ
の設置、お試し住宅の
活用、移住者の要望に
応じたオーダー型体験
ツアー等を実施してい
る。他に、鏡野町空き
家情報登録制度の運営、
定住促進空き家改修事
業補助金、空き家片付
け推進事業補助金を実
施している。

問

移住者や鏡野町
へ関心ごとの相談
先として最初に訪れる
機関先は「カガミノミ
ライ」である。カガミ
ノミライの方の活動量
を心配している。カガ
ミノミライのスタッフ
数と相談件数等のバラ
ンスはどの様になっ
ているのか。

答

まちづくり課長

稼働時間は9時
から18時まで定休日な
し。7月から1名新規
配属となり、3名で窓
口業務等を行っていく。

問

独身の方の出会い
や結婚を促す専
門のアドバイザーの設
置体制が必要と考える
が、町の取組は。

答

まちづくり課長

現在、鏡野町で
は設置はしていない。
鏡野町は、津山のアル
ネに設置してある出会
いサポートセンターに
相談に行ってもらっ
ている。



質問



職員の適正な配置や処遇を
改善するべきではないか



真摯に受け止め
対応していきたい

答弁

一問一答方式



仲西 祐一〔なかにし ゆういち〕 議員

問

現業職の職務内
容を明確にするべ
きでは。

答

総務課長

規定はあるが詳
細には作成していない。

問

総務省が定めて
いる内容では現業
職は技術者、監督者及
び行政事務を担当す
る者以外の者と規定し
ているが、鏡野町で職務
範囲外を担当させた実
例が複数名あると私は
聞いている。その認識
はあるか。

答

町長

職種以外の業務
を実施していた事例が
あり、その認識はある。

問

明確化する必要
性はあると思う。
全体において認識の甘
さが諸々の問題になっ
ていることに気づくべ
きではないか。

答

総務課長

そのとおりだと
は思う。当然、先ほど
申し上げたコミュニケ
ーション、話し合いが重
要だというふうには思

問

双方いろいろな言
い分はあると思う
が、今後の鏡野町行政
の活性化をするに当た
って、コミュニケーション
を大切に、法令やそ
ういった部分の認識
を再度しっかりと
した上で、業務に当
たってほしい。今後も
研修をしっかりとして
活用できるものを今
後構築して欲しいと
思っている。

答

町長

風通しのいい職
場づくり、コミュニケ
ーションのいい職場づ
くりを努めたい。





鏡野町議会を傍聴してみませんか!!

本会議・常任委員会・全員協議会のYouTube配信をしています。

次回定例会の日程（予定）

詳しくはホームページなどで確認してください。

と き	主な内容
9月3日(水) 10:00～	議案の提案理由説明

※その他の日程は未定のため、8月末以降にお問合せください。

【お問合せ先】議会事務局 0868-54-2926

新規就農者（予定者）との意見交換会のご案内

この度、鏡野町議会では、新規就農の皆様、就農予定の皆様と農業経営や地域の課題、今後の展望などについて、意見交換会を開催いたします。ぜひ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

■開催日時：令和7年8月19日(火) 午後6時30分～午後8時

■会 場：鏡野町中央公民館 大集会室（鏡野町竹田660）

■対 象：鏡野町内で新規に就農された方・就農予定の方

■申込方法：締切り 令和7年8月15日(金)

電話 0868-54-2926・メール gikai@town.kagamino.lg.jp

申込フォーム（URLまたは二次元コードからアクセス）

<https://www.town.kagamino.lg.jp/ques/questionnaire.php?openid=10>



スマートフォン等で
二次元コードを読み
取ってください ⇒



【広報特別委員会】

委員長 鈴木 大介
副委員長 難波 達男
委員 片田 八重美
牧田 俊一
小椋 明美
竹下 桂輔
植木 卓

（鈴木 大介）

皆様には、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

この号より、新たなメンバーでの出発となりました。今回から、各議員の一般質問のページに二次元コードを付けています。スマートフォン等で読み取っていただくと、動画がご覧いただけます。

編集後記